

外食における食事動機に関する調査研究

(第 2 報)

集団給食従事者を対象とした調査例と考察

富岡 孝, 松本享子

Surveys on the Motivation of Dining Out

Part II. Investigation on food service worker of industrial feeding

TAKASHI TOMIOKA and KYOKO MATSUMOTO

結 言

外食産業の伸びにともない、外食の普及が目覚ましい昨今の現状に鑑み、著者らは外食をする場合の「動機と行動」を把握すべく、前報⁶⁾では女子学生を対象に外食をする場合の動機づけ（外食という食行為を単数行動、複数行動に分けた）を試みた。

その結果、単数での一連の食行為の行動は「自由」や「簡便さ」などを動機とし、主に昼に、中華料理店、喫茶店、ハンバーガーショップ、スナックなどでスパゲティー、サンドイッチ、トースト、グラタン、ラーメンなどのメニュー選択をすることが多く、明らかに現代の女子学生世代を反映している傾向がみられた。一方、複数での一連の食行為の行動は全体的に一期一会の瞬間を楽しむという情緒的な面が表われていた。

今回は集団給食従事者（食事を提供する側で仕事をしている人達）を対象として調査を行ない、動機づけをし、前報の結果と比較検討した。

調 査 方 法

昭和52年2月に都内の某委託給食施設（十数ヶ所）に勤務する集団給食従事者を対象と

して、前報と同じ内容の質問紙を配布し、各自が質問事項に記入したものを回収した。

調査人員は201名であったが、その内13名は質問事項にほとんど記入がないので、この分については除外した。従って、調査資料は188名分であり、その内訳は17～25歳の男性25名、女性88名、26歳以上の男子33名、女性42名である。この年令区分は15～24歳が最も外食率が高いという報告²⁾からも、外食という食行為の動機づけをし、実態を知るのに適していると考えして区分した。

結 果 と 考 察

我が国における外食産業は昭和30年代に入り、経済発展とともに急速に拡大し、昭和40年代はチェーン化への突入がみられ、同時に外国資本の上陸があり、国際競争時代を迎えるに至って、国内業者はもとより、外資チェーン店との激烈な競争が展開されている。¹⁾

また、「家計調査報告」^{4),5)}によれば、名目で一世帯当たりの消費支出額（月額：年平均）は昭和40年の48,396円から昭和50年の157,982円へと226%の増加率を示しているのに対し、外食費は同期間に1,261円から5,433円へと331%の高率で増加し、年率15%を超える伸びを示してきた。このような社

会情勢下においては、もはや外食は食生活の一断片とみなすにとどまらず、食生活研究においても重要な課題となりつつある現状は見逃せまい。

著者らはこのような背景からして、我々が一般に外食をする場合はどのような動機で誰と一いつどこで一どの位の予算で一何を食べるかなど、外食という食行為の行動が想起されることに着目し、外食におけるこの一連の食行為の動機づけを試みようとして前報の女子学生につづき、本報では集団給食従事者について検討した。

1. 単数行動の動機づけ

1) 外食をする場合の動機 (第1表)

主たる動機は気分転換になるから、食事時間が自由だから、気軽だから、便利だからなどであり、これらの動機は男女、年齢に関係なくみられ、1人で外食する時は「気分転換」、「自由」、「簡便さ」といった短絡的傾向がある。一方、買物のついでに無意識には、男性ではほとんどみられず(個別にみても)、逆に女性の場合は26歳以上では1位を占め、17～25歳の年齢層でも5位を占めており、女子学生の場合も同様なことから、この衝動的動機は女性の外食行動の特徴を示すものと思われる。また、炊事が面倒だから男女とも年齢に関係なくみられるが、特に若年齢層では上位を占めている。一般に男性の場合は炊事は面倒なものという意識が強いと考えられるが、女性でも同様傾向がみられ、集団給食従事者といえども例外ではなく、むしろ日常の仕事の条件からの反動とも推測される。

2) 外食をする時間帯 (第3表)

昼が男女ともに多く、男性は50%強、女性は70%強を占め、年令的な違いはみられない。一方、夜は男性30%強で年齢差がないのに対し、女性は17～25歳約20%、26歳以上が約7%と年齢差がみられ(百分率の差の検定)、26

歳以上の女性は17～25歳の女性に比べ夜1人で外食することが少ない傾向にあり、年令的にみて主婦という立場が多く、それが外食行動に現われているとも考えられる。

いずれにしても1人で外食する場合は昼が多く、夜は幾分少ない(女性は少ない)傾向にあり、深夜、朝に至っては極めて少なく、国民栄養調査の結果³⁾と似ていた。

3) 外食をする場所 (第4表)

男性では中華料理店、大衆食堂、定食屋、レストラン、寿司屋が上位を占めており、日本そば屋、スナック、社員食堂、駅そばなどは利用することが少ない傾向がみられる。女性の場合も中華料理店、大衆食堂、レストランが上位を占めているが、日本そば屋、スナックについては男性よりも高い利用傾向がみられる。また、26歳以上の女性では寿司屋の利用率も高く、ホテルを利用する者もいる。しかし、いずれにせよ男女、両年齢層ともにホテルや割烹店の利用は少なく、当然であろうが料亭に至っては皆無であり、1人で外食する時に利用する場所は限定しえないにしても、上位にランクされた飲食店とみなしても過言ではあるまい。なお、女子学生の場合は喫茶店、ハンバーガーショップが上位を占めていたが、その点今回の結果と異なり、女子学生の外食に利用する場所の特徴を示すものと思われる。

4) 1回の外食に要する費用 (第5表)

最も多い支出額の範囲は500～1,000円、次いで400～500円、300～400円の順であり、男女、両年齢層とも400～1,000円の範囲が圧倒的に多く、300円以下および1,000円以上を支出する者は少ない。1回の外食に要する費用は、外食をする場所と選択メニューとに密接な関係があり、400～1,000円の支出額を満たすとなれば場所と選択メニューもおのずと限定されるものである。女子学生

の場合は300～500円の範囲が全体の57.8%と半数以上を占めており、支出額の範囲が今回の結果より低いが、これは自らの所得があるか否かの相違によるものか、物価上昇にともなう価格変動によるものかはさだかでない。

5) 外食をする時の選択メニュー(第6表-1)

男性は両年令層ともカツ丼、定食類、野菜いためライス、ラーメン、にぎり寿しが多く、女性の場合17～25歳ではサンドイッチ、ラーメン、五目ソバ、定食類、スパゲティー、野菜サラダ、26歳以上では五目ソバ、ラーメン、グラタン、にぎり寿し、ちらし寿しが多い。一体にラーメンや五目ソバなど中華麺類を素材とするメニューは男女、年令に関係なく選択される傾向がある。また、米飯を素材とするメニューは男性が好む傾向がみられ、パン、麺類など小麦製品を素材とするメニューは17～25歳の女性が好む傾向がみられた(第6表-2)。この若年層の女性は、女子学生の場合と同様な嗜好を示す選択メニュー(パン類)が多く、この点26歳以上の女性が選択するメニューと著しい相違がみられた。

2. 複数行動の動機づけ

1) 外食をする場合の動機(第2表)

家族で外食する場合の主たる動機は、気分転換、味覚の楽しみ、食事を通しての楽しみの機会、豪華な食事をしたい、買物のついでに無意識になどであり、男女、年令による違いは少なく、女子学生の場合と比較しても大差がなく同様な結果が得られた。従って、家族が外でする食事は、いわゆる楽しみや気分転換のために、あるいは家庭では味わいにくい味覚を探索する機会であることとらえることができ、「楽しみ」や「味わい」などが強調されていることがわかる。

なお、この質問項目について男性の解答率が低かったことを指摘し、今後の調査のすす

め方を検討しなおす必要を併記しておく。

付き合いや会合で外食する場合は、親睦を計る機会、食事を通しての楽しみの機会、豪華な食事をしたい、気分転換に、近所や親類の付き合いが大切など男女ともに女子学生の場合と同様の結果がみられた。付き合いや会合での外食は親睦を計り、人間関係をより一層深める役割を果しているものと思われる。

2) 外食をする時間帯(第3表)

家族で外食する時は、男性の場合17～25歳の年令層では夜が多く、26歳以上ではわずかながら昼が多い傾向がみられ、女性については両年令層とも夜が多くなっている。一方、付き合いや会合で外食する時は、男女、年令に関係なく夜が圧倒的に多く、特に男性の場合昼や深夜に比べ夜が著しく多いのは、多分に酒席をとまなう外食が多いためと想像される。女性の場合も女子学生が昼、夜半々程度であったのに比較すると、昼より夜がかなり多くなっており、仕事を持っているため(勿論、学生だから昼に時間的余裕があるとは限らないが)かとも考えられる。

従って、複数で外食する時は全体的に昼より夜が多い傾向にあり、深夜は少なく、朝については持無とみても極論ではない。

3) 外食をする場所(第4表)

家族で外食する時は、男女、年令に関係なくレストラン、寿司屋が多く、中華料理店、大衆食堂、割烹店も上位を占め、料亭の利用もみられる。女子学生の場合も家族で外食する時は、寿司屋、レストラン、中華料理店、大衆食堂が上位を占め、今回の結果と同様傾向を示していた。

付き合いや会合で外食する時は、レストラン、割烹店が最も多く、しかも男性では割烹店の利用が多く、女性ではレストランの利用が多い。次いで寿司屋、中華料理店、スナック、大衆食堂の順であり、料亭の利用も家族

の場合より多くなっている。また、女子学生の場合は喫茶店の利用が多くみられたが、今回は全くみられないことから、喫茶店の利用は女子学生の外出行動の特色と考えられる。

4) 1回の外出に要する費用(第5表)

家族で外出する時は、男女、両年齢層とも1,000～2,000円の支出額が最も多い(17～25歳の女性は500～1,000円)。しかしながら、その他の支出額の範囲をみると、500円から3,000円以上まで男女、年齢により多少の違いがみられ支出額はまちまちであり、3,000円以上については17～25歳の年齢層よりも26歳以上の年齢層の方が多く、家族構成、所得、食習慣などが背景にあるものと考えられる。

付き合いや会合で外出する時は、500～3,000円以上の範囲まで家族で外出する場合と似た支出額の傾向にあり、17～25歳の年齢層をみると男性では1,000～3,000円、女性では500～2,000円(女子学生の場合と同様な結果)の範囲が多く、男性の支出額は女性のそれより大きい傾向がみられた。また、26歳以上の年齢層では3,000円以上支出する場合が多く、特に男性においてはその傾向が顕著である。従って、付き合いや会合でする外出は、支出額において男性が女性を上回ることが多く、この性差の違いは外出する場所、選択メニューなどを対応させれば当然とも考えられる。

5) 外出をする時の選択メニュー(第7表)

家族で外出をする時は、にぎり寿司、天ぷら、中華フルコース、鍋物、ステーキ類など選択メニューもいわゆる「ご馳走」といわれるものが多く、一般に家庭では本格的な味を出しにくい調理形態であり、家族で外出する場合の特色がでている。特ににぎり寿司は男女、両年齢層とも第1位を占め、女子学生の場合と同様の結果を示していた。

付き合いや会合で外出する時は、男性では

刺身、中華フルコース、会席料理、にぎり寿司、鍋物、天ぷらなど酒席に供されるメニューが多い。女性では26歳以上の年齢層の場合男性に似た傾向がみられるのに対し、17～25歳の年齢層では鍋物、スパゲティー、にぎり寿司が多く、サンドイッチもみられ、女子学生の場合と似た一面がみられる。しかし、一方では洋食フルコース、会席料理もみられ、女子学生の場合と異なった点があり、これは実社会における職業人として、社会的行為の場を経験しているからとも考えられる。

こうして外出における一連の食行為の行動を全体的に眺めてみると、単数行動の場合外出における食事そのものは食欲(基本的欲求)を満たす役割の範囲を超えることは少ないが、複数行動の場合には食欲に社会的欲求がプラスされ、外出がより一層人間同志を結びつける媒体になっているとみられる。

要 約

外出をする場合の「動機と行動」を明らかにするため、アンケート調査により追究することを試み、今回は集団給食従事者について動機づけを行った結果

1. 1人で外出する場合男性は気分転換、自由、簡便といった短絡的動機で、主に昼に中華料理店、大衆食堂、定食屋、寿司屋などで400～1,000円の費用により、カツ丼、定食類、野菜いためライス、ラーメン、にぎり寿司を食べるケースが多かった。女性は男性同様短絡的動機と買物のついでに無意識にといった衝動的な動機で、主に昼に中華料理店、大衆食堂、レストラン、スナック、寿司屋などで400～1,000円の費用により、サンドイッチ、ラーメン、五目ソバ、スパゲティー、グラタン、にぎり寿司を食べるケースが多くみられた。

2. 家族で外出する場合は男女ともに「楽

しみ」や「味わい」といった動機が主で、夜に寿司屋、レストラン、中華料理店、割烹店などで、にぎり寿し、ステーキ類、天ぷら、鍋物、中華フルコースを食べるケースが多かった。

3. 付き合いや会合で外食する場合は男女ともに「親睦を計る」、「贅沢な味わいと楽しみ」、「気分転換」といった動機が主で、夜に割烹店、レストラン、中華料理店、寿司屋、

スナック（若年層の女性）などで、刺身（男性）、ステーキ類、中華フルコース、会席料理、鍋物、天ぷら、にぎり寿し、スパゲティとサンドイッチ（若年層の女性）を食べるというケースが多く、支出額も大きい傾向がみられた。

終りに本研究について御助言を賜った本学教授箕口重義博士に深く謝意を表します。

第1表 単数単独での外食の行動の動機

	17～25歳		26歳以上	
	男	女	男	女
気分転換になるから	16.0 [%] (1)	10.2 [%] (1)	5.1 [%]	7.9 [%] (2)
食事時間が自由だから	10.7(3)	10.2(1)	13.1(1)	7.1(3)
気軽だから	12.0(2)	6.8	11.1(2)	5.6
便利だから	10.7(3)	6.8	8.1(3)	6.4
炊事が面倒だから	10.7(3)	10.2(1)	7.1	5.6
買物のついでに無意識に	1.3	8.3(3)	—	11.1(1)
安あがりのような気がするから	1.3	1.5	1.0	7.1(3)
メニューの選択が自由だから	4.0	5.7	8.1(3)	4.8
めずらしさ（味覚の楽しみ）を求めたいから	5.3	2.3	8.1(3)	6.3
外食の雰囲気が好きだから	6.7	2.7	1.0	3.2
特別な理由はない	2.7	9.1(2)	7.1	4.8
その他	13.2	15.2	12.0	8.9
未回答	5.3	11.0	18.2	22.2

上表で（ ）内の数値は順位を示す。

第2表 複数での外食の行動の動機

		17～25歳		26歳以上	
		男	女	男	女
家族で 外食する 場合	食を通じてのより大なる楽しみの機会だから	8.0 (1)	5.7 (3)	4.0	5.6 (3)
	気分転換になるから	6.7 (2)	11.4 (1)	7.1 (1)	6.4 (2)
	豪華さ(食事内容)を求めたいから	6.7 (2)	4.2	3.0	6.4 (2)
	めずらしさ(味覚の楽しみ)を求めたいから	6.7 (2)	7.2 (2)	5.1 (3)	7.9 (1)
	外食の雰囲気が好きだから	8.0 (1)	3.8	3.0	3.2
	気軽だから	2.7 (3)	2.3	7.1 (1)	3.2
	買物のついでに無意識に	1.3	3.0	4.0	5.6 (3)
	子供の食生活のしつけになるから	2.7 (3)	—	6.1 (2)	3.2
	特別な理由はない	2.7 (3)	3.0	3.0	6.4 (2)
	その他	19.8	32.9	10.9	36.9
	未回答	34.7	26.5	46.7	15.2
外食する 場合 や 会合 などで	親睦を計る機会だから	14.7 (1)	12.1 (2)	18.2 (1)	11.1 (2)
	食を通じてのより大なる楽しみの機会だから	9.3 (2)	12.9 (1)	7.1	11.9 (1)
	気分転換になるから	6.7	6.1	8.1 (3)	4.0
	豪華さ(食事内容)を求めたいから	5.3	6.4 (3)	10.1 (2)	3.2
	めずらしさ(味覚の楽しみ)を求めたいから	4.0	5.3	3.0	4.0
	近所、親類との付き合いが大切だから	4.0	4.5	5.1	9.5 (3)
	便利だから	4.0	4.9	4.0	4.0
	特別な理由はない	8.0 (3)	4.5	6.1	1.6
	気軽だから	5.3	4.9	—	4.0
	外食の雰囲気が好きだから	5.3	6.4	—	—
	その他	21.4	22.5	20.1	16.5
未回答	12.0	9.5	18.2	30.2	

上表の()内の数値は順位を示す。

第3表 外食をする時間帯

	1人で外食する時				家族で外食する時				付き合いや会合で 外食する時			
	17～25歳		26歳以上		17～25歳		26歳以上		17～25歳		26歳以上	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
朝	—	—	3.0	—	—	—	3.0	—	—	—	—	—
昼	56.0	71.6	51.5	76.2	12.0	20.5	39.4	31.0	8.0	21.6	3.0	26.2
夜	36.0	21.6	30.3	7.1	56.0	50.0	36.4	54.8	76.0	72.7	81.8	52.4
深夜	8.0	1.1	—	2.4	4.0	2.2	—	—	12.0	4.5	9.1	7.1
その他()	—	2.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.1
未回答	—	5.7	15.2	14.3	28.0	27.3	21.2	14.2	4.0	1.2	6.1	21.4

第4表 外食をする場所

	1人で外食する時				家族で外食する時				付き合いや会合で外食する時			
	17~25歳		26歳以上		17~25歳		26歳以上		17~25歳		26歳以上	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
ホテル	2.0	—	1.5	4.8	6.0	—	6.1	2.4	4.0	—	4.5	6.0
レストラン	16.0	8.5	10.6	11.9	18.0	14.8	19.7	20.2	16.0	25.0	16.7	21.4
割烹店	2.0	—	—	—	8.0	7.4	9.1	8.3	36.0	9.1	27.3	11.9
料亭	—	—	—	—	8.0	4.0	—	3.6	4.0	3.4	12.1	4.8
寿司屋	6.0	2.8	12.1	9.5	14.0	16.5	10.6	21.4	16.0	8.5	13.6	17.9
日本そば屋	4.0	8.5	6.1	9.5	—	5.7	4.5	2.4	—	4.0	—	4.8
中華料理店	20.0	17.6	16.7	21.4	10.0	8.0	13.6	7.1	8.0	11.4	7.6	9.5
大衆食堂	20.0	18.2	18.2	15.5	4.0	10.2	7.6	11.9	4.0	10.0	4.5	—
スナック	6.0	11.4	1.5	7.1	—	2.3	—	—	8.0	7.4	4.5	6.0
定食屋	20.0	6.3	12.1	3.6	4.0	2.8	—	1.2	4.0	4.5	—	—
社員食堂	2.0	2.3	6.1	1.2	—	—	—	—	—	—	—	—
駅そば	2.0	1.7	4.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他(喫茶店)	—	1.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
未回答	—	11.4	10.6	15.5	28.0	28.4	28.8	21.4	—	11.9	13.6	15.5

第5表 1回の外食に要する費用

	1人で外食する時				家族で外食する時				付き合いや会合で外食する時			
	17~25歳		26歳以上		17~25歳		26歳以上		17~25歳		26歳以上	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
200~300円	8.0	10.2	—	9.5	—	—	—	—	—	—	—	—
300~400円	4.0	11.4	6.1	9.5	—	1.1	—	2.4	—	—	—	—
400~500円	28.0	25.0	21.2	33.3	—	4.5	—	4.8	—	1.1	—	—
500~1,000円	52.0	44.3	63.6	31.0	4.0	26.1	12.1	7.1	12.0	31.8	—	4.8
1,000~2,000円	4.0	1.1	3.0	4.8	28.0	21.6	27.3	31.0	32.0	30.0	33.3	26.2
2,000~3,000円	4.0	—	—	—	24.0	11.4	18.3	11.9	28.0	19.3	21.2	26.2
3,000円以上	—	1.1	3.0	2.0	16.0	9.1	18.2	28.6	28.0	13.6	51.5	33.3
未回答	—	6.8	3.0	9.5	28.0	26.1	24.2	14.3	—	4.5	6.1	9.5

第6表-1 単数で外食する時の主な選択メニュー

	17~25歳		26歳以上	
	男	女	男	女
カツ丼	16.0(1)	1.1	10.6(1)	1.2
天ぷら	—	1.1	4.5	3.6
天ぷら	4.0	0.6	4.5	3.6
かけそば	2.0	—	4.5	2.0
天ぷらそば	—	2.3	4.5	3.6
五目そば	4.0	8.5(3)	1.5	13.1(1)
ラーメン	12.0(3)	13.6(2)	9.1(2)	9.5(2)
スパゲティ	4.0	7.4	—	4.8
グラタン	—	5.1	—	7.1(3)
サンドイッチ	—	15.3(1)	—	—
トースト	—	5.7	—	—
にぎり寿司	6.0	0.6	9.1(2)	4.8
ちらし寿司	—	1.1	—	4.8
野菜いためライス	10.0	1.7	10.6(1)	2.0
チャーハン	4.0	5.7	1.5	—
カレーライス	4.0	2.8	3.0	—
定食類	14.0(2)	8.0	10.6(1)	4.8
野菜サラダ	—	7.4	1.5	2.0
ハンバーグ	2.0	1.7	3.0	3.6
その他	18.0	1.3	16.5	19.5
未回答	—	9.0	5.0	10.0

上表の()の数値は順位を示す。

第6表-2 選択メニューの料理別分類

	17~25歳		26歳以上		
	男	女	男	女	
ごはん類	54.0	22.1	48.4	21.2	
めん類	中華	16.0	22.1	10.6	22.6
	そば・うどん	6.0	14.8	9.0	17.5
	マカロニ・スパゲティ	—	—	—	—
パン類	—	21.0	—	—	
天ぷら	4.0	0.6	4.5	3.6	
サラダ	—	7.4	1.5	2.0	
ステーキ類	2.0	1.7	3.0	3.6	

第7表 複数で外食する時の主な選択メニュー

	家族で外食する場合				付き合いや会合で外食する場合			
	17～25歳		26歳以上		17～25歳		26歳以上	
	男	女	男	女	男	女	男	女
にぎり寿司	14.0(1)	14.8(1)	13.6(1)	23.8(1)	8.0(2)	6.8(3)	7.6	10.7(1)
ちらし寿司	—	0.6	3.0	1.2	2.0	—	1.5	—
天ぷら	10.0(2)	8.5(3)	7.6(2)	11.9(2)	6.0(3)	5.7	4.5	7.1(3)
刺身	6.0	2.3	1.5	—	10.0(1)	4.0	13.6(2)	1.2
焼魚	—	0.6	—	1.2	2.0	0.6	1.5	1.2
鍋物	4.0	10.2(2)	3.0	4.8	10.0(1)	10.8(1)	4.5	6.0
会席料理	6.0	1.7	1.5	—	8.0(2)	5.7	13.6(2)	7.1(3)
中華フルコース	6.0	4.0	4.5(3)	10.7(3)	8.0(2)	4.5	15.2(1)	7.1(3)
洋食フルコース	8.0(3)	1.1	1.5	2.4	4.0	6.3	10.6(3)	9.5(2)
ピフテキ	—	—	7.6(2)	—	6.0(3)	—	—	7.1(3)
ハンバーグステーキ	8.0(3)	4.0	—	2.4	2.0	4.5	1.5	2.4
ポークステーキ	2.0	—	—	4.8	2.0	0.6	—	1.2
うな井	2.0	—	3.0	1.2	—	—	—	3.6
天井	—	0.6	3.0	1.2	—	0.6	—	—
定食類	2.0	5.1	4.5(3)	4.8	6.0(3)	6.3	—	4.8
ラーメン	—	3.4	3.0	2.4	2.0	1.7	—	—
五目ソバ	—	2.3	—	1.2	—	1.1	—	2.4
スパゲティ	—	1.7	—	—	—	9.7(2)	—	—
サンドイッチ	—	—	1.5	—	2.0	5.7	—	1.2
その他	4.0	12.1	16.9	9.3	20.0	22.0	15.3	13.1
未回答	28.0	27.8	25.8	16.7	2.0	3.4	10.6	14.3

上表の()の数値は順位を示す。

文 献

- 1) 原 勉：飲食・外食産業界，教育社（東京）P 36～39（1978）。
- 2) 細谷憲政，鈴木継美編：食生活研究，初版，第一出版（東京）P 63（1975）。
- 3) 厚生省公衆衛生局栄養課：栄養学雑誌，35，1，55（1977）。
- 4) 総理府統計局編：家計調査報告，198～209（1965）。
- 5) 総理府統計局編：家計調査報告，318～329（1975）。
- 6) 富岡 孝，松本享子：聖徳栄養短期大学紀要，8，1（1977）。